

# デジタル地域振興用システム需要調査の 結果

地域振興用周波数の有効利用のための技術的条件に関する調査検討会事務局

# デジタル地域振興用システムに関する需要調査

## ■調査の目的

デジタル地域振興用システムの必要なチャンネル数の算出及び効率的な周波数配置の検討に必要なデータ取得のため、デジタル地域振興用システムの利用が見込まれる機関等を対象とする需要調査を実施

## ■調査の必要性

- ・地域振興MCA及びマリンコミュニティホーン(旧利用機関含む)を利用している機関の利用状況及びデジタル化への意向確認
- ・今後、デジタル地域振興用システムの利用が見込まれる漁業関係機関の意向確認

## ■調査対象機関

地域振興MCAを利用している団体

マリンコミュニティホーンを利用している団体(旧利用機関含む)

新たに利用を検討する団体(東北管内の漁業関係機関)

## ■調査期間

平成27年8月4日～平成27年9月25日

## ■調査方法

調査対象機関宛に・アンケートを送付・電話調査・訪問調査のいずれかを行い結果を集計する。

## 需要調査の回答状況

---

### 1、地域振興MCAを利用している団体

対象件数32件 郵送アンケート依頼 32件

返信 30件、連絡つかず2件

### 2、現在、マリンコミュニティホーンを利用している団体

対象件数4件 郵送アンケート依頼3件 訪問調査1件

返信3件 訪問調査1件

### 3、マリンコミュニティホーンの利用をやめた団体

対象件数10件 郵送アンケート依頼10件

返信6件 電話調査1件

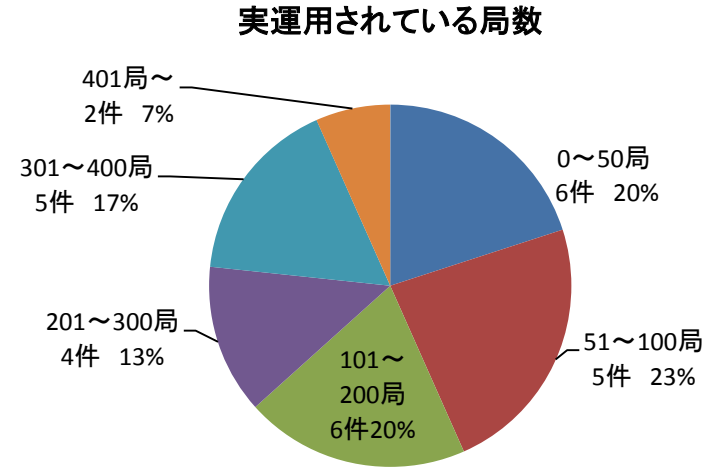
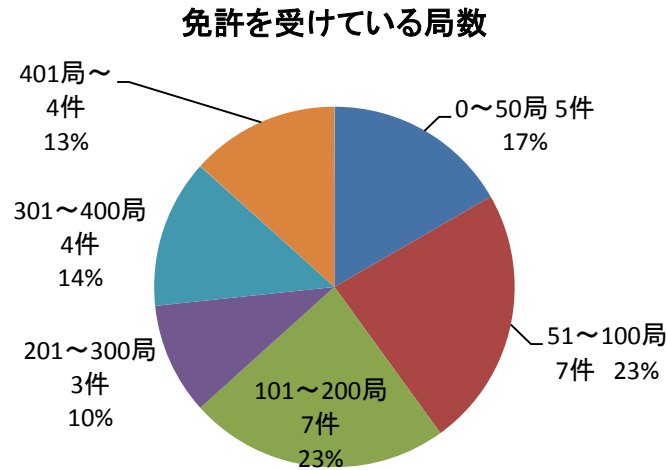
### 4、新たに利用を検討する団体

対象件数38件 郵送アンケート38件

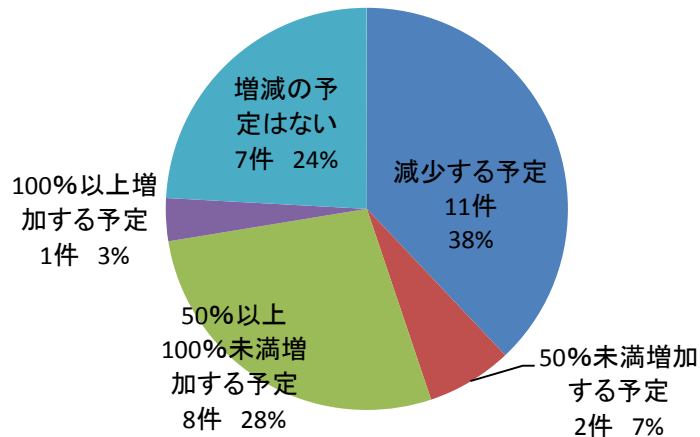
返信12件

# 地域振興MCAを利用している団体(30団体)からの回答①

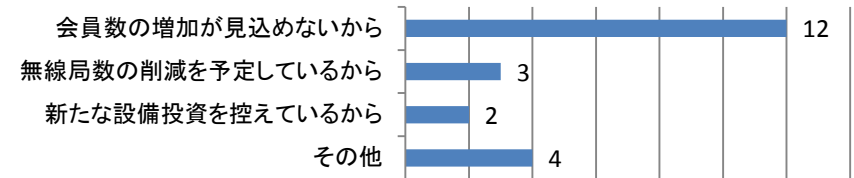
## Q1.現在保持する陸上移動局の無線局数について



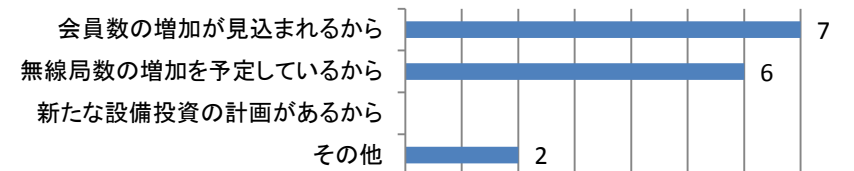
## Q2.今後3年間で見込まれる保持する無線局に関する計画



## Q3.無線局数減少理由



## Q4.無線局数増加理由



## 地域振興MCAを利用している団体(30団体)からの回答②

上記以外に以下の内容のとおり。

〈増加〉消防団用として採用の見込み、単独で使用できる(商業インフラを使用しない)がそれぞれ1団体。

〈減少〉IP無線への移行をあげたのは11団体。

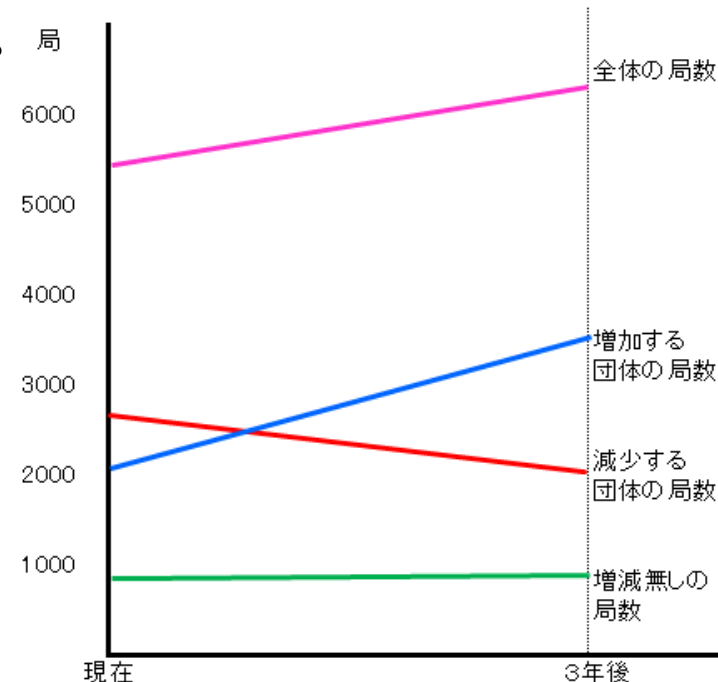
IP無線への具体的な移行例

- ・利用者が業務拡大により通信範囲が県外まで広がり地域振興MCAのエリア外となった。
- ・IP無線の遅延、音質の改善が行なわれ、地域振興無線端末の更新の際にIP無線の音質を選択された。
- ・将来的には、IP無線に移行させた上で廃局を検討している。

〈今後3年間の見通し〉

- ・IP無線に移行していく業種は運送業に多く、利用者に運送業の割合が多い団体は利用者が減少する見込み。
- ・中規模エリアで十分な通信範囲の建設関連、福祉サービスは他の通信手段に移行する見通しは少なく、業種の市場成長性が大きいいため利用者の増加が期待される。

3年後の局数の見通しの集計は右図の通り。  
減少する見通しの局数を増加する見通しの局数が上回っているため117%の増加となっている。

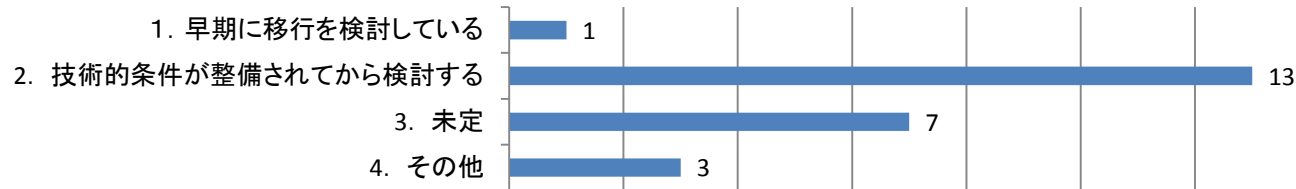


## 地域振興MCAを利用している団体(30団体)からの回答③

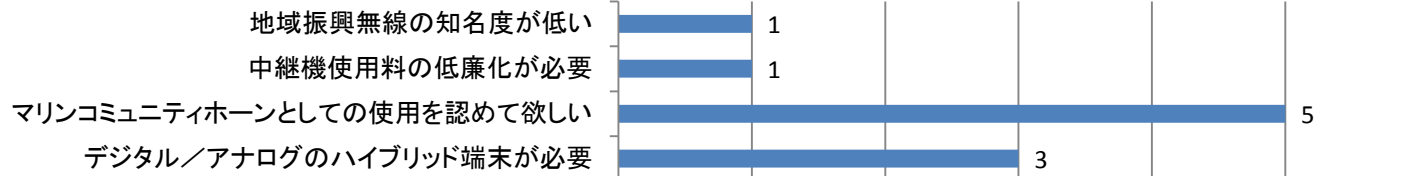
### Q5.システム増の要望

無線局数増加と回答した免許人のうち通信量増加に対応してシステムの追加を検討している免許人は6法人、デジタルへの移行により利用者が増えるという見通しの免許人は2法人。

### Q6.デジタル方式への移行



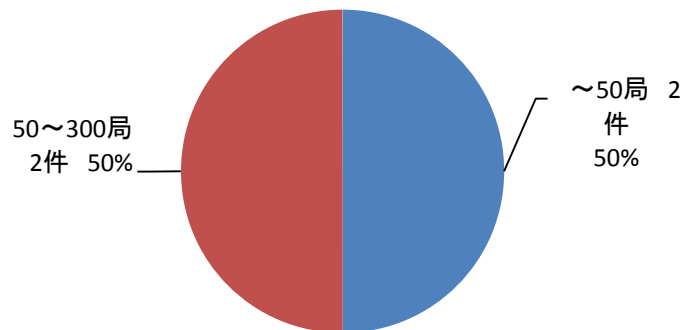
### Q7.その他の意見



上記の意見は全て今後、無線局が増加するという回答の11団体から寄せられたもの。“マリンコミュニティホーンとしての利用を認めて欲しい”という意見は利用範囲拡大への要望と見られるうえ、現在マリンコミュニティホーンを利用している団体(利用者)からも同様の話がでており、この点からデジタル化による、利便性拡大への期待が大きい。

# 現在、マリンコミュニティホーンを利用している機関(4団体)からの回答①

## Q1. マリンコミュニティホーンの無線局数について

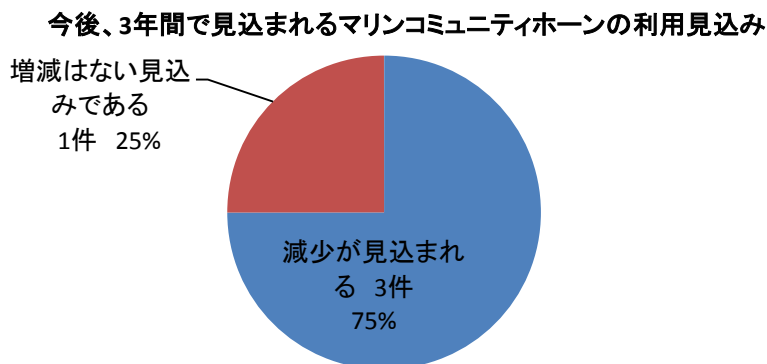


## Q2. 主な漁業の種類と操業範囲について

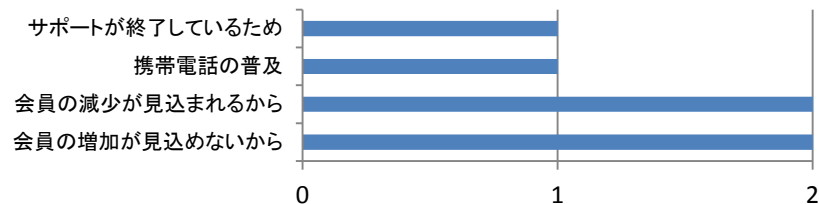
	漁業の種類	港からの距離
A漁協	刺し網漁業	10km
	定置網漁業	5km
B漁協	養殖漁業	1km
	刺し網漁業	10km
	定置網漁業	5km
	沖合底曳き漁業	60km
C漁協	いか一本釣り漁業	2km
	養殖漁業	2km
	刺し網漁業	3km
D漁協	いか一本釣り漁業	20km
	一本釣り漁業	30km

## Q3. マリンコミュニティホーンの利用状況について

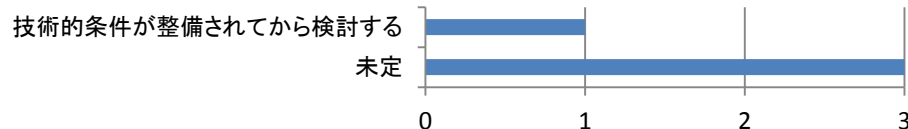
通信可能範囲の質問に対して、4団体からの回答はそれぞれ20km、30km、40km、70kmとの回答。



## Q4. 無線局数減少理由



## Q6. 新たな無線システムへの移行について



## 現在、マリンコミュニティホーンを利用している機関(4団体)からの回答②

他に以下の意見があった。

- ・マリンコミュニティホーンはDTMFの反応が遅くつながりにくい。
- ・使用できるエリアが広いため近隣の地域振興MCAの海上使用を行ないたい。
- ・船舶の呼び出し名称は聞き取りにくいいため、受信した無線機に表示されるようになれば良い。
- ・一斉同報は災害時に必要であるため必ず配備する。
- ・緊急時に情報共有のため行政等を相手方とした弾力的な通信を認めて欲しい。

こちらの機関は危機管理意識が非常に高く、無線通信については安定した情報の共有手段として重要視。

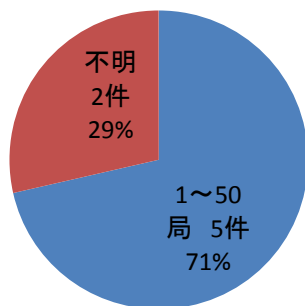
その他の意見では以下の1件が寄せられた。

海上使用のため、高い防水性が必要ですが、陸上端末と価格差が無い様な低コストを実現してください(原文のまま)



# マリンコミュニティホーンの利用をやめた機関(7団体)からの回答①

## Q1.過去に利用されていたマリンコミュニティホーンの無線局数について

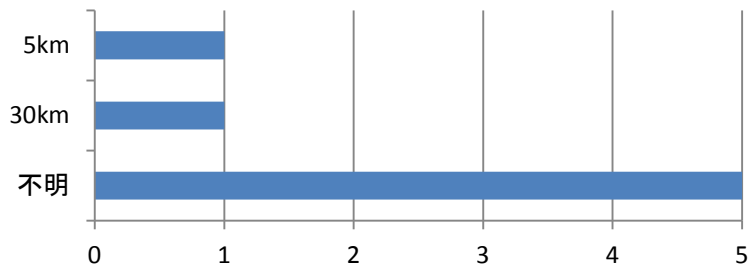


## Q2.主な漁業の種類と操業範囲について

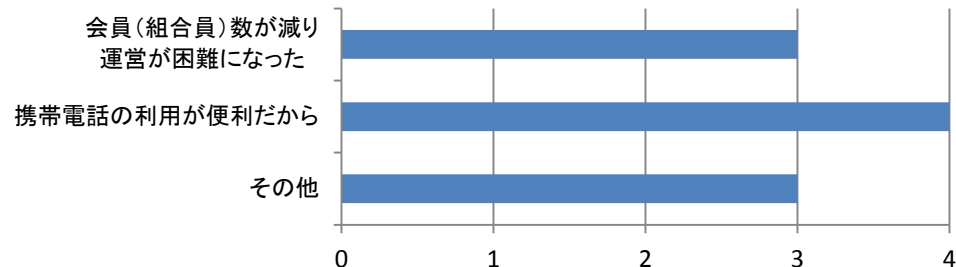
	漁業の種類	港からの距離		漁業の種類	港からの距離
A漁協	養殖漁業	10km	D漁協	養殖漁業	0.5km
B漁協	刺し網漁業	5km		沖合い底引網漁業	100km
	沖合い底引網漁業	10km	E漁協	養殖漁業	15km
C漁協	養殖漁業	1km	F漁協	刺し網漁業	10km
	刺し網漁業	2km		船曳	30km
	定置網漁業	2km		一本釣り	80km
	まき網	8km			
	海女漁	1km			

## Q3.マリンコミュニティホーンの利用状況について

### ・基地局からの距離



### ・利用をやめた理由

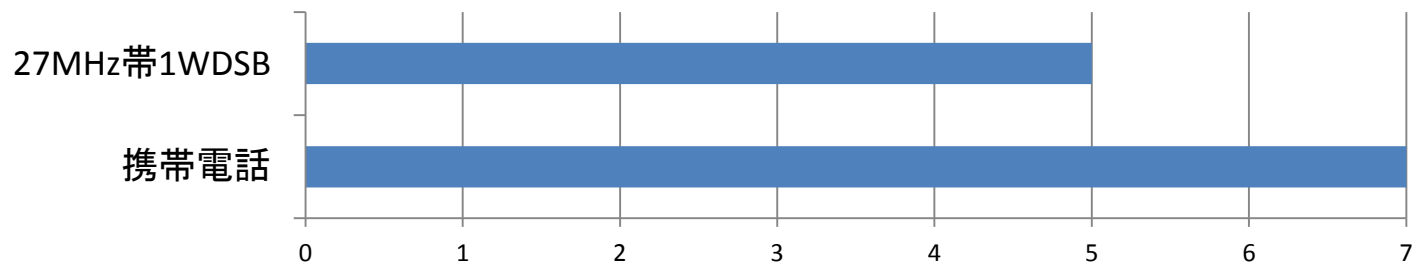


### 利用をやめたその他の理由として

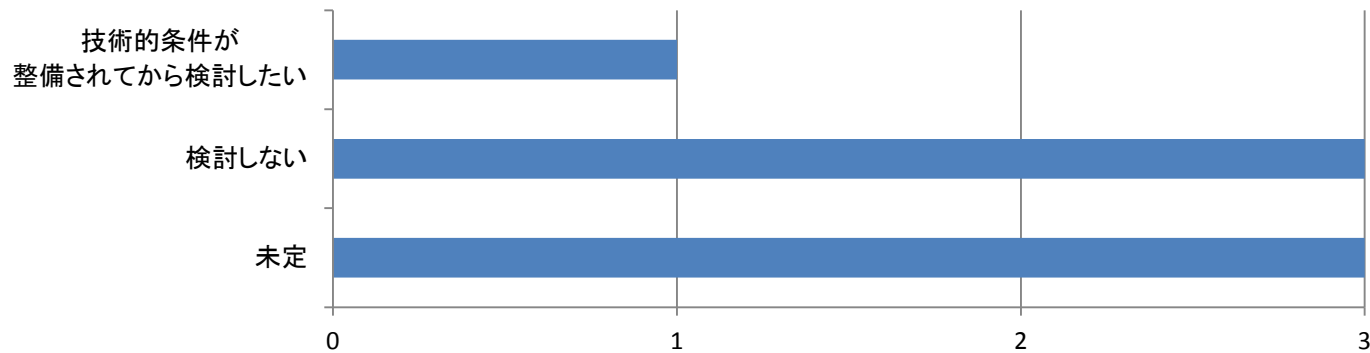
- ・携帯電話に比較して、単信通話や送信時間の制限があるマリンコミュニティホーンは不便。
- ・20年ほど前に導入したがバッテリーの持続時間が短くクレームになった。
- ・廃業による。

## マリンコミュニティホーンの利用をやめた機関(7団体)からの回答②

### Q4.沿岸における現在の通信手段について



### Q5.新たな無線システムへの移行について



# 新たに利用を検討される機関(12団体)からの回答(1次集約)

主な漁業の種類と操業範囲

	A漁協	B漁協	C漁協	D漁協	E漁協	F漁協	G漁協	H漁協	I漁協	J漁協	K漁協
養殖漁業	5.4km		3km	3km	1km				5km	3km	
刺し網漁業	10.8km	10km	10km	10km	3km	○	20km	25km	10km	10km	8km
定置網漁業	5.4km		10km	10km	7km		4km	2km	5km	7km	
沖底引き網漁業		100km		20km							
いか釣り	36km								40km		
さんま棒受	250km								1500km		
沿岸漁業			50km								
かご				10km			20km	25km			
はえなわ漁業							30km	30km			

沿岸における現在の通信手段と距離

	A漁協	B漁協	C漁協	D漁協	E漁協	F漁協	G漁協	H漁協	I漁協	J漁協	K漁協
27MHz 1WDSB	36km	50km	10km	30km	10km		20km	50km	30km	10km	
150MHz帯国際VHF							40km	15km	30km		
携帯電話	12km	8km	10km	10km	10km	○	15km	25km	40km	3km	○
アマチュア無線	25km							35km			
船舶電話	250km										

“新たな無線システム(デジタル方式)の利用について“の回答は以下のとおり。

- ・技術的要件が整備されてから検討したい      1機関
- ・検討しない      3機関
- ・未定      7機関
- ・無回答      1機関